



この球場は宝くじの
普及宣伝整備事業として
整備されたものです。

平成18年7月 むかわ町
財団法人日本宝くじ協会



鷗

川高校野球部の練習などに
既に使用されている、「田浦

第2野球場」のオープニングセレ
モニーが7月25日、田浦第2野
球場落成記念試合実行委員会が主催
して行われました。球場にはこの
日、山口町長や竹中町議会議長を
はじめ、福田敏幸鷗川町野球連盟
会長、鷗川高校野球部など関係者
約200人が集まりました。

セ

レモニーでは、町長が「鷗川
高校野球部をはじめ多くの

方々に活用され、野球が核となっ
て、さらにまちが活性化されるこ
とを願いたい。」とあいさつ。また、
来賓として訪れた山本邦彦道副知
事は、「同球場の建設にあたっては、
道も支援して落成されたことは大
変喜ばしい。野球を通じ、まちづく
りにも一翼を担ってほしい。」
と祝福の言葉をいただきました。
また、神戸典臣道議会議員も「これ
を機会に、町内外の多くの方々に
利用され、新生むかわ町が益々発
展することを祈念します。」と期待
を寄せていました。

セ

レモニー後には、完成を記念
して「球場開き記念試合」と

してJR北海道と筑波大学の試合
が行われ、多くの観客が試合の観
戦に訪れました。

むかわ町の農業を切り開く25人の顔ぶれ

むかわ町農業委員会委員

合併後、初めて行われたむかわ町農業委員会委員選挙。

立候補の届け出を7月4日に受け付け、第1選挙区(鵠川地区)定数11人、

第2選挙区(穂別地区)定数8人に対し、同数の届け出があり無投票で当選しました。

また、7月20日に改選後初めての総会が開催され、議会・団体などの推薦による

6人の委員も決まり、会長に前田歳一氏、職務代理に清川三十四氏が

それぞれ全会一致で選出されました。

新生むかわ町の農業振興のため、地域に根ざした活動を担う

25人の農業委員をご紹介します。



厳しい農業情勢の中、
農用地の流動化が
農業委員としての大役です。
今後とも皆さんのご協力を
お願いします。

職務代理
清川三十四氏

会長
前田歳一氏

●農業委員の主な役割

- 優良農地の確保と有効利用
- 農地銀行を核とした農用地の流動化
- 地域活動と農業者の公的代表としての農政活動
- 農業の担い手の育成と後継者の確保
- 農業者年金への加入促進と的確な経営移譲の推進
- 標準小作料と機械利用料金の設定
- 各種調査活動

団体・議会の推薦枠

6人

団体・議会から推薦された6人

鵠川農業協同組合



かも・けんいち
加茂 健一さん(60歳)
農業・田浦・現
希望の持てる農業を確立するために努力いたします

とまこまい広域農業協同組合



あずま・ちよし
東 千吉さん(50歳)
農業・穂別仁和・現
本町農業発展のために、何事にも大誠実で全力投球いたします。

いぶり農業共済組合



まえだ・としかず
前田 歳一さん(67歳)
農業・二宮・現
新たな農業の構造改革の中で、新町としての農地行政に努めます。

鵠川土地改良区



あけむら・はじめ
明村 一さん(63歳)
農業・生田・現
各地域の方々とともに希望の持てる農業の推進に努力します。

むかわ町議会



いけもと・しげる
池本 茂さん(45歳)
農業・田浦・現
各地域の方々とともに、希望の持てる農業の推進に努力します。

むかわ町議会



きとう・ふみひで
紀藤 文秀さん(49歳)
農業・穂別・元
厳しい農業情勢の中、地域農業の発展に努力します。

第1選挙区(鵜川地区)一般選挙の11人

鵜川地区の定数
11人



ささき・やすなり
佐々木 保成さん(46歳)
農業・田浦・新

希望の持てる農業を確立するため一生懸命努力します。



あおき・しげみ
青木 茂美さん(49歳)
農業・田浦・現

地域の方々とともに、活力ある農業の推進に努力します。



たかだ・せいじ
高田 清治さん(51歳)
農業・二宮・新

地域の方々とともに、活力ある農業の推進に努力します。



かねがわ・ふみお
古根川 文雄さん(57歳)
農業・豊城・現

地域の方々とともに、活力ある農業の推進に努力いたします。



うちうみ・たかし
内海 卓さん(58歳)
農業・花岡・新

地域の方々とともに、活力ある農業の推進に努力いたします。



つなき・のぶてる
綱木 信照さん(55歳)
農業・宮戸・新

地域の方々とともに、活力ある農業の推進に努力します。



なかじま・かつみ
中島 勝美さん(51歳)
農業・米原・現

新しい希望の持てる農業を確立するため努力いたします。



かまだ・みつよし
鎌田 三義さん(55歳)
農業・生田・現

地域に根ざした活動を進め、新町の農業振興に貢献します。



えんどう・いちそう
遠藤 一三さん(48歳)
農業・米原・現

新しい希望の持てる農業を確立するため努力いたします。



かなや・まもる
金谷 守さん(53歳)
農業・汐見・現

農家の皆さんと話し合い、意見を聞き一生懸命努力します。



しばた・ふみひろ
柴田 文広さん(48歳)
農業・春日・現

農地を荒らさず有効利用するため、担い手の育成を支援します。

第2選挙区(穂別地区)一般選挙の8人

穂別地区の定数
8人



ゆふ・こういち
由布 浩一さん(49歳)
農業・穂別・現
希望の持てる農業のために、農業委員としてがんばります。



うえずぎ・としみつ
上杉 俊光さん(57歳)
農業・穂別稲里・元
地域農業発展のために微力ながらがんばります。



きよかわ・さとし
清川 三十四さん(61歳)
農業・穂別平丘・現
地域の皆さまとともに、活力ある農業の推進に努力します。



ふじえ・まさとし
藤江 政利さん(49歳)
農業・穂別稲里・現
地域の方々とともに活力ある農業の推進に努力します。



なかざわ・よしゆき
中澤 由幸さん(51歳)
農業・穂別・現
農業情勢を的確にとらえ、活力ある農政活動を目指します。



みやた・ひろゆき
宮田 広幸さん(51歳)
農業・穂別安住・現
担い手が希望の持てる地域農業の推進に努力します。



もりもと・としあき
森本 利明さん(52歳)
農業・穂別仁和・現
担い手の育成を支援します。



ふじわら・ふじお
藤原 富士男さん(57歳)
農業・穂別豊田・現
地域に合った農業推進に努力します。

6月27日～
7月6日

TOPICS

田畑真紀選手など国内トップクラス選手が むかわ町で合同強化合宿

トリノ五輪で活躍した本町出身の女子スピードスケートの田畑真紀選手をはじめ、吉井小百合選手、宮崎今佐人選手など国内トップクラス選手10人が6月27日から7月6日にかけて、本町で合同合宿を行いました。選手たちは4年後のバンクーバ五輪に向けて体力づくりと技術向上のため、鶴川スケートセンターを拠点にローラースケートや自転車練習のほか、筋力トレーニングなども積極的に行いました。6月29日には、鶴川スケートセンターで公開練習を行い、町内外からスケート少年団や見物客な

ど約100人が見守る中、ローラースケートをはいた選手たちは、羽田雅樹監督の厳しい指導のもと、フォームを確認しながら滑り込みを行いました。田畑選手は「地元むかわ町ではいつも落ち着いて充実した練習ができる。改修されたスケートリンクもきめが細かく滑りやすい。4年後を見据えてしっかりと技術を向上させたい。」と抱負を語ってくれました。また、この日の練習後には、地元の子どもたちとふれ合う機会にと、鶴川スケート協会が企画した交流会も行われ、つかの間の休息を楽しみました。



↑ 6月29日の公開練習で、ローラースケートで滑り込む田畑選手たち



↑ 鶴川スケートセンターで室内練習に励む吉井選手



↑ 穂別地区での登坂練習



↑ 過酷な股上げトレーニング



↑ 公開練習に訪れた多くの見物客

むかわ NEWS FLASH

SURPRISE

HOT

TOPICS

CULTURE

EVENT



「むかわ」に関わる
ニュースをお待ちしています。

■本庁企画課企画広報係

☎0145-42-2412

■穂別総合支所地域振興課

☎0145-45-2111

6月27日

TRAINING

本番さながら 胆振地方消防訓練大会

北海道消防協会胆振地方支部が主催する胆振地方消防訓練大会が6月27日、本町のたんぽぽ公園駐車場で開かれました。この大会は管内の消防団がポンプ車操法、小型ポンプ車操法などの消防技術を競うもので地元からは鶴川消防団と穂別消防団が出場しました。ポンプ車操法では5人1組となり、指揮者の号令のもとに団員が俊敏な動きでホースをつなぎ放水。どの消防団も本番さながらに日頃鍛えた消防技術を披露し結果、ポンプ車操法で鶴川消防団が見事優勝しました。



ポンプ車操法で放水する消防団員

7月6日～

7月9日

FAIR

ほべつメロンパンも好評 「まるごとほべつフェア」

穂別地区の魅力を伝える「まるごとほべつフェア」が7月6日から9日までの3日間、札幌市のサンピアザで開かれ、ほべつメロンを中心に展示即売し、過去最高の3,283玉が販売されました。同フェアはJ Aとまこまい広域穂別支所を中心に行っている取り組みで、今年で5年目となります。販売されたのは、ほべつメロンのほか、雪瑞穂、パン工房夢風船がフェア限定でつくった「ほべつメロンパン」など。また、地球体験館などのPRも行い、行き交う買い物客の足を止めていました。



ほべつメロンを品定めする買い物客

7月7日

STAR FESTIVAL

英語で「星に願いを」 和泉小学校で七夕の集い

織り姫と彦星が1年に一度会う七夕を迎えた7月7日に和泉小学校で英語指導助手のミーシャ・キヨムラさんを招き、七夕集会が行われ、子どもたちが思い思いの願いを短冊に託しました。子どもたちは「世界一のパン屋に」「夢は女優。願いは世界平和」など、英語と日本語の二カ国語で願いごとを書いた短冊や黄色や水色などの折り紙で柳の木を彩りました。なお、ミーシャ・キヨムラさんは滝川市への異動が決まっており、お別れ集会も兼ねての集いとなりました。



七夕の集いであいさつをするミーシャさん

7月9日

EXHIBITION

ヒグマに立ち向かう 北海道犬の雄姿に感動

社団法人天然記念物北海道犬保存会鶴川支部などが主催する北海道犬の展覧会、獣猟競技会が、7月9日に開催されました。この大会は北海道犬を後世まで残し、その資質を一層向上させることを目的に開催され、今年は町内外からは231頭の自慢の北海道犬が出陣しました。大会は犬の体型などを審査する「個体審査」と檻の中のヒグマを威嚇する度合いを競う「敵対競技」などに分かれ、大熊に向かって果敢に吠える犬に見物客から大きな拍手が送られていました。



檻の中のヒグマに向かい果敢に吠える北海道犬

7月14日～

7月15日

FESTIVAL

僕たち・私たちの夏 穂別高校学校祭開催

第53回穂別高等学校学校祭が7月14日、15日の2日間、開催されました。初日となった14日、各学年2クラスの計6クラスによる仮装パレードが行われました。学年毎に制作した山車を先頭に学校前をスタートし特別養護老人ホーム愛誠園前と中央公園駐車場の2会場で躍動感あふれるパフォーマンスを披露しました。炎天下の中、様々な衣装を身にまとった生徒たちのダイナミックな踊りに、会場は終始お祭りムードに包まれ、歓声と拍手が沸き起こりました。



学校祭でダイナミックな踊りを披露した穂別高校生

7月19日

CHALLENGE

祝！全道大会出場 鶴川ジュニアファイターズ

7月19日、町内の少年野球チーム鶴川ジュニアファイターズが役場を訪れ、山口町長に旭川市で開かれる第27回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団野球交流大会への出場報告をしました。同チームは、7月8日に行われた胆振地区予選大会の決勝で接戦を見事に制し、全道大会出場の切符を手に入れました。山口町長は「まずは1勝を目指してがんばって。」と、訪れたキャプテンの川奈野祥真主将たちを激励しました。ガンバレ！鶴川ジュニアファイターズ！



町長に健闘を誓い握手する川奈野主将と福士副主将

お誕生日おめでとう。今月誕生日を迎える“むかわっこ”をご紹介します。



動物が好きな満里亜。優しい子になってね!! (母：由貴さん)



歌や踊りが大好きな美優。毎日楽しく過ごしてます。(母：康弥さん)



真愛の笑顔で家族みんなが笑顔になれるよ。これからもここにこしてねっ。(母：恵美さん)

7月17日～
7月18日

MEMORIES

笑顔で思い出の1ページ
穂別高校穂星寮生がサバイバルキャンプ

穂別高校穂星寮生の3年生8人が7月17日・18日の両日、清流鵠川を舞台に「サバイバルキャンプ」に挑戦しました。同キャンプは教育委員会が主催し、「野外活動を通して、社会人として旅立つ前にふるさとの豊かな自然を肌で感じながら自分で生きる力を養ってほしい。」との願いを込めた恒例行事。初日は、町内旭岡までカヌーで川を下り、宿営地を自分たちで設営。夕食も事前に用意した釣りざおで川で魚を釣り、夕食の食材にして食べるなど、野性味たっぷり。夕食後は、段ボールを体に巻いて慣れ

ない寝床で、睡眠をとりました。2日目の朝、少し疲れた様子でしたが、最終目的地の鵠川河口へ向けて、再びカヌーで出発。鵠川の穏やかな川の流れにのり、無事に鵠川河口までの約42.2kmを縦断しました。寮生にとっては「寮生最後の関門」ともいわれるサバイバルキャンプ。普段味わうことのできない2日間のキャンプを過ごした寮生たちは「自然の厳しさを知り生きる力を学ぶ良い機会となりました。」充実した顔つきで話してくれました。貴重な2日間を通して、寮生の絆もより深まったようです。



↑無事にキャンプを終え、鵠川河口で記念撮影した穂星寮の寮生



↓キャンプ初日、自分たちで炭をおこし夕食をつくる寮生



将来の夢は大きな個展を開くこと 穂別には描きたい美しい風景があります

道展入賞をめざす穂別の芸術家



Mukawa Human Life Interview

プロフィール

ふじ た よしゆき
■ 藤田欣亨さん／66歳

むかわ町穂別出身。
昭和52年から穂別小学校の公務補として
26年間勤務し、平成16年3月に退職。
昨年からは七尾重機に勤務、穂別総合支所の
夜間・休日の警備を担当している。
現在、穂別美術サークルの会長も
務めている。

vol. 4

道展への出展に向け 作品制作開始?

「手先が器用な訳じゃないけど、小さい頃から描いたり作ったりするのは好きだった。」「実はさ、昔からアンモナイトの収集マニアだったんだよね。」と語ってくれたのは、穂別美術サークル会長の藤田欣亨さん。このほど、割り箸を使って直径約50センチほどのアンモナイトのオブジェを創りあげた。使用した割り箸2,800膳、木工用ボンド6リットル。制作日数は約2か月を要した。

「表面を削るときに出る削りかすを吸い込んでしまつて大変な目に遭つた、もう作らないかもな。」と話してくれたその顔は「苦労した」というよりも「満足した」顔に見えた。本業は絵画。今まで道展に出展し、入選すること4回。公務補として穂別小学校に勤務していた当時、毎年卒業生に記念として色紙に絵を描いて送っていた。

「やっぱり、絵の方がいいな。穂別には描きたい風景がまだまだたくさんあるし、来年は久しぶりに道展に出展しよう。」



と思つてゐるんだ。入選じゃなくて、何か賞がほしいんだよね。」と意欲をのぞかせた。

現在、割り箸による第2弾の作品となるクビナガリュウの創作途中で「来年1月にアンモナイトと一緒に博物館に展示をする予定だから、何とか完成させて、絵の方にとりかからないとな。」と本業復帰にはもう少し時間がかかりそう。

だが、そう言いながらも藤田さんの頭のキャンパスには、すでに数々の穂別の美しい風景が描かれているに違いない。

このコーナーでは、むかわ町在住のいろいろな人・団体を毎月紹介していきます。
本町に住む方で、紹介したい人・団体がいる方は、本庁または支所の広報担当にご一報を！

小さなまちで大きく輝く 

予防は万全？エキノコックス症予防

早期発見が大切です “エキノコックス症”

北海道を中心に分布が拡大しているエキノコックス症。感染から症状が出るまでに10数年かかるこの病気。現在のところ、根治するためには、手術で切除するしかありません。なによりも早期に発見し、早期に治療を行うことが大切です。

肝臓に寄生しておこる病気 エキノコックス症

エキノコックス症とは、エキノコックスという名前の寄生虫が主に肝臓に寄生しておこる病気です。エキノコックスが寄生したキツネやそのふんに直接さわったり汚染された山菜や沢水を口にするとうる感染の危険があります。

感染から症状(疲れやすい、黄疸、上腹部の不快感など)が出るまでに数年から10数年かかるため、気がつかないうちに悪化してしまうことが多い病気です。5年に一度は、血清検査を受けて、感染していないことを確かめましょう。

町では、次の日程で鶴川地区、穂別地区において血清検査を実施しておりますので、ぜひこの機会に検査を受けることをお勧めします。

エキノコックス症検診のご案内

鶴川地区

8月8日(火) たんぽぽクリニック 診療時間内
8月9日(水) JA鶴川厚生病院 午後5時～7時

穂別地区

毎週木曜日 午後 穂別診療所

➡対象 小学校3年生以上

➡料金 無料

➡検査内容 血液検査

※結果は、約1か月後に判明しますが、「異常なし」の方には通知しません。



検査希望者は、実施日に医療機関へお越しください。また、外から帰つたり必ず手を洗つたり、野山の果実や山菜などを口にする場合は、良く洗つか十分熱を加えて食べるなど、予防対策も心がけましょう。

かかりつけ医の四方山話し③

診療所に来て1年が過ぎました。これまで幅広い年齢層、様々な病気をもつ患者さんを、地域事情や家族背景に配慮しつつバランスよく医療を提供しようと心がけてきました。さて、最近私が特に力を入れたことの一つが「タバコ」の問題です。この4月から一部医療機関では、禁煙治療に健康保険の適用が始まりました。タバコをやめられないのは、ニコチン依存症という病気であり、気持ちは強くもつだけでは禁煙を続けられないことも多いようです。体内のニコチン切れによるイライラなどを和らげるのに、ニコチンパッチを貼ることも勧められています。喫煙者自身の健康への影響はもちろん、短期間にニコチン依存になりやすい子供の喫煙、家族や周囲にも害を及ぼす受動喫煙などに対して、家庭や学校、職場、地域での理解や協力は欠かせません。診療所では、まだ保険適用ではありませんが、年齢を問わず禁煙したい皆さんのお手伝いを始めています。診療時間に対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

プロフィール

むかわ町国民健康保険穂別診療所

医長 安藤 慎吾

札幌市出身。平成13年、大阪市立大学医学部卒業。京都大学理工学部卒業後、いったん就職するも医学の道を志す。平成17年5月、一木所長が提唱した地域医療構想に共感し穂別診療所へ。過疎地における地域医療に情熱を燃やすヒューマニスト。認定産業医。



医療や福祉についてのコラムを
おかわ町国民健康保険穂別診療所
医師3名が交替で担当します。

北海道で初めて導入される「循環資源利用促進税」

10月1日から新たな環境目的税 「循環資源利用促進税」がスタート

北海道らしい循環型社会の形成に向け、産業廃棄物の排出抑制やリサイクルなど

循環の利用を促進することを目的に平成18年10月1日から産業廃棄物に関する税制度がスタートします。

急がれている 循環型社会の形成

大量生産、大量消費といった使い捨てのライフスタイルが定着し、ごみの処理量は年々増加するとともに質的にも多様化してきています。また、ごみ処理コストの高騰や不法投棄の増加など、廃棄物対策は大きな社会問題となっており、この問題を抜本的に解決するためには、従来のごみ処理中心の対策から、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)を行う循環型社会を形成することが不可欠となっています。

環境目的税を新設して 産業廃棄物を排出抑制

こうした中、北海道においては、

北海道らしい循環型社会の形成に向けた総合的な計画として「北海道循環型社会推進基本計画」を作成するなど、循環型社会の形成に向けた取り組みを進めてきました。リサイクルなどを促進する施策のために必要となる財源を確保するとともに、産業廃棄物の排出抑制を進めるため、環境目的税として、産業廃棄物を排出する事業者に対し「循環資源利用促進税」を導入します。

産業廃棄物を排出する 事業者に対して課税します

循環資源利用促進税(循環税)は、産業廃棄物の最終処分場への搬入に対して課税されるもので、税金を負担する方は、産業廃棄物を排出する事業者です。産業廃棄

物を中間処理してから最終処分場に搬入する場合は、中間処理業者の方が循環資源利用促進税を負担することになり、中間処理業者の方は産業廃棄物を排出する事業者に対し、中間処理料金に循環資源利用促進税相当額を請求することになります。

税収は、産業廃棄物の排出抑制やリサイクルの推進などの費用に使われ、税収規模は、施行後5年間で約50億円を見込んでいます。なお、税額については下表のようになっています。

循環資源利用促進税の税率

■産業廃棄物1トンのあたりの税額

H18.10.1～H19.3.31 → 330円

H19.4.1～H20.3.31 → 660円

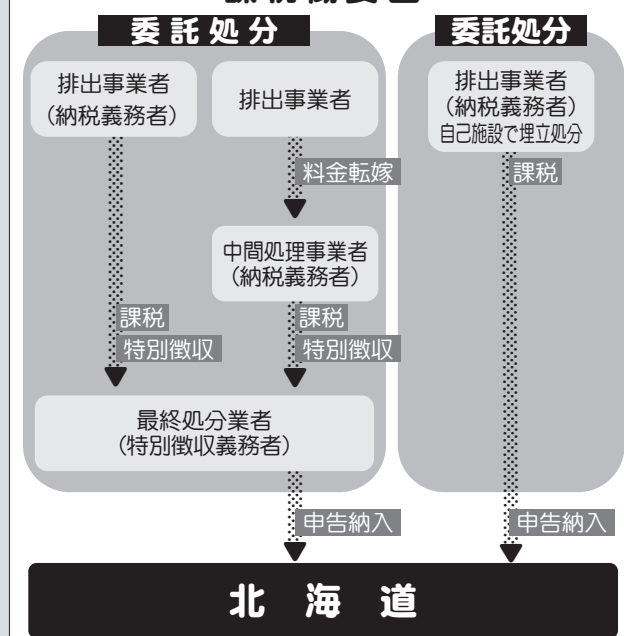
H20.4.1～ → 1,000円

※H18.10.1～H20.3.31の間は、最終処分業者(市町村を含む。)以外の方が行う自己処分について、上記の税率より軽減した税率が適用されます。

詳しくは、胆振支庁苫小牧道税事務所(TEL0144-32-5178)へお問い合わせください。



－ 課税概要図 －



案内
guidance

森林政策のシンポジウム
ぜひ、参加してください

毎年、北海道・東北地区を中心とする森林関係の研究者、行政などが集まって実施される、北日本林業経済研究会主催のシンポジウムがむかわ町で開催されます。自由参加です。

▼日時

8月30日(水)午後1時～5時

▼会場

穂別町民センター2階 集会室

▼内容 「地域発」これからの森林管理・森林政策をテーマとしたシンポジウム。全国、全道各地の取り組みの報告とパネルディスカッション
※むかわ町は森林・林業の現状や課題について報告

▼申し込み 事前申し込み不要

▼問い合わせ 【支所】農林商工課 451-2115まで

むかわ町戦没者追悼慰霊祭



むかわ町の戦没者に対し、追悼の意を表すとともに平和の誓いを新たにすため執り行います。一般の方々にもご参列頂きたうご案内申し上げます。

▶日時

【鶴川地区】8月4日(金) 午前10時55分～
【穂別地区】8月7日(月) 午前10時50分～

▶会場

【鶴川地区】四季の館 たんぽぽホール
【穂別地区】穂別神社境内 忠魂碑前

※当日は地区ごとに黙とうの合図として、午前11時にサイレンを吹鳴しますので戦争で犠牲となった人を偲び、町民皆さまの黙とうをお願いいたします。

**訓練科目の選択のため
入校前に相談を行います**

北海道障害者職業能力開発校では、平成19年度の入校希望者を対象に障がい程度の程度や能力に応じた訓練科目が選択できるよう、次により相談を行うておりますのでお気軽におこしください。

▼相談期間 平成18年7月3日(月)～平成19年2月22日(木)

※土日・祝日、夏期休暇8月5日～20日、冬期休暇12月23日～1月8日を除く

▼相談時間

①午前の部 9時30分～
②午後の部 1時30分～

▼持参書類 相談を受けられる方は、障害者手帳、療育手帳または障がいを確認できる書類を持参すること

▼訓練科目 情報ビジネス科、プログラム設計科、プリントメディア科、CAD機械科、建築設計科など

**税金・各種料金の
8月の夜間納付窓口**

穂別総合支所では、日中仕事などで町税・各種料金を納付できない方のために、毎月「夜間納付窓口」を開設しています。

8月の「夜間納付窓口」は、

①8月16日(水)
②8月28日(月)

になっております。

窓口の設置場所
穂別総合支所 1階 出納窓口

税金に関する簡単な相談にも応じますので、ぜひご利用ください。窓口は町民センター入口からお入りください。
※事前にご連絡いただければ、上記の日程以外でも応じます。

▶問い合わせ

【支所】地域振興課
45-2111(内線3117)

▼申込先・問い合わせ

【北海道障害者職業能力開発校】

〒073-0011

砂川市焼山60番地

TEL 0125-1521-2774

FAX 0125-1521-9177

ぜひ、ご来場ください
ビアガーデンのご案内

穂川町商工会青年部主催による「2006・サマービアガーデン」が行われます。

▼日時

①8月4日(金)午後4時～8時
②8月5日(土)午後3時～8時

※雨天時は8月6日(日)に延期

▼会場 役場本庁舎北側広場

▼内容 ビール、焼き鳥、クレープなどの販売

※前売券販売中

▼問い合わせ 穂川町商工会館内 鶴川町商工会青年部事務局 4212

276(ひばり)まで

秋の豊作を願う
穂別農業まつりの案内

今年も豊穣の秋を祈り実行委員会主催による「穂別農業まつり」が行われます。イベントや各種ゲームのほか、地元産農産物の直売や和牛の無料試食コーナーもあります。たくさんのご来場をお待ちしております。

▼日時 8月19日(土)午後1時～8時

▼会場 農協穂別支所 撰果場広場

▼内容 餅まき大会・お楽しみ抽選会・芸能ショー・よさこいソーラン踊り・各種ゲーム・出店など



▲昨年の穂別農業まつりの一コマ

▼問い合わせ 第16回穂別農業まつり実行委員会事務局(支所) 農林商工課内 45-2115まで



案内

guidance

リクエストにお応えして

今年も町民運動会やります

昨年、穂別町最後の町民運動会を開催し、44回の歴史に幕を閉じたところですが、運動会終了後に穂別地域の町民を対象にアンケート調査を行ったところ、対象者の約52%の方が「来年も開催されれば参加する」と回答しました。この結果を参考に町民運動会検討会において検討した結果、大会名を変えて今年度も開催することになりました。なお、運動会の詳細については、後日チラシなどで周知します。



▲昨年開かれた穂別町最後の町民運動会

▼日時 8月27日(日)

午前9時10分開会式

▼会場 穂別小学校グラウンド

▼対象 穂別地区に居住する方

※時点は8月27日現在

▼競技方法 自治会対抗

※単自治会または合同自治会

▼問い合わせ 【支所】教育振興課

4512113まで

募集

recruit

払い下げ処分します

穂別地区「(旧)和泉生活館」

穂別地区にある「(旧)和泉生活館」は、築40年が経過しており、現在使用しておりません。また、行政財産としての用途も廃止し、今後使用する見込みがないため、敷地と合わせて払い下げ処分をします。

▼処分財産

【(旧)和泉生活館】



■所在地 穂別和泉103番地3
■建物面積 198.81㎡
※本体174.3㎡・附属24.52㎡
■敷地面積 約970.54㎡
※実測により確定

▼払い下げ予定価格

建物価格＋土地分筆登記に係る費用

※詳しいことは、問い合わせ先に確認してください。

▼払い下げの条件 公共料金、税金など滞納のない者

▼その他

①希望者が複数の場合は、入札により売却

②売却後の用途は、事務所又は住宅

とし、土地においても事務所用地および宅地とすること

③明け渡しは契約後1カ月以内

▼申込期限 8月21日(月)

▼問い合わせ 【支所】地域振興課 4512111(直通)まで

入居者募集中

町営住宅など空室あります

町では次のとおり町営住宅などの入居者を募集します。

▼募集住宅

【鶴川地区】

①大原第2団地(6-13号・2DK)

②洋光団地(6-11号・2DK)

③洋光団地(11-13号・2DK)

④洋光団地(20-11号・3DK)

きつとなる。あこがれの自衛官に…。

自衛官募集案内



募集種目	受験資格	受付期間	試験日程
一般曹候補学生 (男女共通)	18歳以上 24歳未満	8月1日(火) ～ 9月8日(金)	▶試験種目 筆記 ▶試験日 9月16日(土) ※一般曹候補学生の試験時間は午後 ※曹候補士の試験時間は午前
曹候補士 (男女共通)	18歳以上 27歳未満		▶試験種目 筆記・口述など ▶試験日 9月24日(日) 9月25日(月) ※いずれか1日
2等陸・海・空士(女子)	18歳以上 27歳未満		▶試験種目 筆記・口述など ▶試験日 9月26日(火)～ 9月30日(土) ※いずれか1日
2等陸・海・空士(男子) ※3・4月採用	18歳以上 27歳未満	随時	▶試験種目 筆記・口述など ▶試験日 受付時に通知
2等海・空士(男子) ※10月採用	18歳以上 27歳未満 ※高校在学中の方を除く		

※応募資格、受験手続きなど詳しいことの問い合わせは、自衛隊札幌地方連絡苦小牧出張所(☎0144-32-3725)まで

⑤文京ハイツ(203号・3DK)
※入居時期はいつでも8月下旬。家賃・敷金・入居資格などは、問い合わせ先へご確認を

▼申し込み
【穂別地区】随時募集中

鶴川地区で住宅を希望される方は、8月15日(火)までに必要書類を確認のうえ申込先へ提出すること

▼申込先・問い合わせ 【本庁】建設水道課 ☎42-2417(直通) / 【支所】建設課 ☎45-2117(直通)まで



募集

recruit

救命手当の基礎知識を! 消防署主催の救命講習会

消防署では9月3日から9日までの救急医療週間にあわせ、AED(自動体外式除細動器)の取り扱いなど「普通救命講習Ⅰ」(3時間)を開催します。3時間の本講習を受講されま

▼日時・会場

【穂別地区】9月6日(水)

午後1時30分～4時30分

穂別町民センター

【鶴川地区】9月8日(金)

午後1時30分～4時30分

四季の館1階研修室

▼講習内容 心肺蘇生法・AED使用法・止血法・骨折時の固定法など



▲AED(自動体外式除細動器)

▼参加料 無料

▼定員 両日ともに先着15人程度

▼申し込み 消防署穂別支署・鶴川支署に受講申込書を用意しておりますので、必要事項を記入のうえ、最寄りの消防署までお申し込みを

▼問い合わせ 消防署穂別支署 4

512244 / 消防署鶴川支署 4

212119

国保・老健の負担は 8月1日が基準日です。

受給者証がかわります!

①昭和7年10月1日以降に生まれた方で、70歳になる方がお持ちの「国民健康保険高齢受給者証」の有効期限は7月末です。対象となる方に7月下旬に新しい受給者証を送付しました。

②昭和7年9月30日以前に生まれた方で、前年所得により一部負担金の割合が変更された方は、7月下旬に新しい「老人保健医療受給者証」を送付しました。

□①、②どちらも8月以降に、医療機関などにかかれる際に、新しい受給者証を提示してください。

限度額適用・標準負担額減額認定証の申請を!

町道民税非課税世帯で現在、減額認定証をお持ちの方の有効期限は7月末です。引き続き入院されている方でも再度、申請が必要です。なお、申請は被保険者証または受給者証・印かんを持参された場合は、ご家族の方でも可能です。

減額認定証を持っていたら?

町道民税非課税世帯の方が入院される場合、認定証を医療機関に提示することにより食事療養費など一部負担金が減額されます。

低所得区分の認定は所得申告が必要です!

国民健康保険加入者・老人保健受給者の所得判定は加入者の申告をもとに行っております。まだ申告をされていない方は、【本庁】財務課か【支所】地域振興課で申告をしてください。なお、国民健康保険高額医療費の限度額判定も同様の扱いとなり、所得がない世帯でもその旨の申告がない場合は「一定以上所得者」区分とされます。

国民健康保険税の軽減申請はお早めに!

6月に送付しました「平成18年度国民健康保険税通知書」に同封された「2割軽減申請書」をまだ提出されていない方は、お早めに【本庁】財務課か【支所】地域振興課に提出してください。

□2割軽減該当者のみに同封しております。なお、該当者でも9月末までに申請がない場合は、軽減措置を受けられません。

受給者証に関する問い合わせは、【本庁】町民サービス課 42-2414 または【支所】町民課 45-2114 まで

啓発

enlightenment

身体障がい・知的障がいの 相談に応じています

身体障害者相談員・知的障害者相談員は、身体および知的障がいの者の更生援助に関し、本人またはその保護者などからの相談に応じています。料金は無料。相談員は、障がいの生活などに関する相談に応じ、必要な指導、助言を行っています。もちろん相談内容の秘密は守られます。

本町では、町長から推薦されて、北海道知事が委嘱した次の方々が相談員となっておりますので、気軽にご相談ください。

▼身体障害者相談員

●山下与造さん(米原394番地)

●岩淵博子さん(若草8番地)

▼知的障害者相談員

●長谷川健夫さん(穂別75番地5)

▼問い合わせ 【本庁】健康いきがい課 42-2415 / 【支所】町民課 45-2114 まで

45-2114 まで

お返しをしています

戦後預けられた通貨・証券

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々から預かりいたしました、約87万件余りの次のような未返還の保管証券類をお返ししております。

①終戦後、海外から引き揚げて来られた方々が上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券

②帰国前に樺太(真岡、大泊、豊栄、留多加など)、満州(瀋陽、吉林、撫順、鞍山など)にあった在外公館、日本人自治会に預けられた通貨・証券の日本に返還されたもの

返還の請求はご本人だけでなく、ご家族の方々でも構いません。『もしかしら家に...』とお気付きの方は、お気軽に最寄りの税関までお問い合わせください。

▼問い合わせ 苫小牧税関支署 40

144134-1953



啓 発
enlightenment

**お墓参りをする方は
供物類のお持ち帰りを**

「お盆」「お彼岸」などでお墓にお参りされる方が多い8月と9月。お墓の清掃はご先祖様へのエチケットです。墓所の雑草を取ったり、花立てや香炉などの汚れをとったりして、できる限り清潔な環境を保ちましょう。また、お墓にあげるお供え物などはそのまましておきますと、カラスやキツネなどの餌となりますので、お持ち帰りください。

お墓を末永く大切に使うためにも、清掃とお供え物などのお持ち帰りにご協力ください。

▼問い合わせ 【本庁】町民サービス課 42-2414 / 【支所】町民課 45-2114まで

海水浴シーズン

心得を守って楽しもう

夏休みの遊びといえば海水浴。夏が短い北海道でもいよいよシーズンが始まります。ただ、海辺に来るとついつい気持ちがおおらかになり、危険な目にあつことも…。

海水浴をする前には、次の心得を守って楽しく遊びましょう。

- ①「標旗」「うき」などによって区画された区域内で遊泳しよう
- ②必ず準備体操を行い、身体を濡ら

しながら水に入ろう

③ 次のようなときは遊泳をやめよう

① 開設者が定めた利用時間外(夜間、早朝)であるとき

② 開設者が遊泳することは危険または不相当と認め、遊泳を禁止したとき

③ 体調が悪いとき

④ 酒類を飲んだとき

④ 遊泳区域を表示する標旗、うきなどを移動したり、壊したりしないようにしよう

⑤ 海岸に打ち寄せられた海水が沖に戻る強い流れに流されたら、あわてずに海岸と平行に泳ぎ流れから離れよう

⑥ 他人の迷惑となる行為はやめよう

⑦ 幼児や児童には、必ず親など保護者が同伴しよう

⑧ 空きかん、空きびんなどのごみは、所定の場所に持って行くか、家庭に持ち帰ろう

⑨ 魚貝を採取しないようにしよう

⑩ 遊泳区域内に、ヨット、サーフボード、モーターボード、水上オートバイなどを乗り入れないようにしよう

⑪ モリ、水中銃などはやめよう

⑫ 危険な遊技などはやめよう

⑬ 貸ボートを利用するときは、その事業者の指示に従うとともに、事故防止に細心の注意を払おう

⑭ 公衆の安全、衛生などを損なうような行為はやめよう

**事前に申し込みください
無料で相談に応じます**

お金の貸し借り・借家、借地のトラブル・離婚・遺産相続などの相談をお受けします。料金は無料。相談内容の秘密も守られますので安心してご相談ください。なお、お悩みがある方は事前にお申し込みください。

▼日時 9月8日(金)

午後1時30分～4時

▼会場 産業会館1階相談室

▼相談員 吉川 忠利 弁護士

▼申込先・問い合わせ 本庁【町民サービス課】42-2414まで

気をつけて!

お盆期の交通事故

お盆とその前後の期間(8月9日～8月18日までの間)の過去5年の死者は72人で、毎年平均14・4人もの方が交通事故の犠牲になっています。解放感からスピードを出し過ぎたり、墓参りや帰省などに伴う長距離運転による疲労などから事故が多発しま

す。運転される方は次のことに注意しましょう。

① 無理な行程とならないよう、事前に運行計画を。また、行先地付近では渋滞も予想されるので、余裕のある計画で急がないことを心掛けよう

② 先を急ぐあまり、スピードを出し過ぎたり、無理な追い越しをするとは重大な事故の原因。譲り合いの気持ちを持って、ルールやマナーを守ろう

③ 運転中に疲れや眠気を感じたら、無理をしないで休憩することが大事。駐車帯などで停止し、気分をリフレッシュしよう

④ 不慣れた道路で、カーナビなどに気をとられていると、思わぬ事故につながります。脇見しないで、前を見て運転しよう

⑤ シートベルトは、もしもの時の命綱。運転席・助手席はもちろん、後部席の方にもシートベルトを着用させよう



8月より、全国一斉に「食安全衛生月間」がスタートします。気温の高い夏は食中毒菌が発生しやすいため、食中毒がおこりやすくなります。食中毒を防ぐため、手をよく洗ったり、十分に過熱調理をしたりするなどの対策をしつかりしましょう。

施設
institution

穂別博物館の 今月のイベントです

穂別博物館の今月のイベントは次のとおりとなっています。

【夏の特別展】貝が語るむかわの「一億年」

▼日時 7月15日(土)～9月3日(日)

※期間中は無休

▼会場 博物館特別展示室

▼内容 穂別地区の白亜紀や新生代の海にあった貝化石と、鶴川地区に現在ある海の貝の紹介など、むかわ地域の「一億年」の歴史を解説

※期間中の土曜日午後には学芸員の解説付き(休みの場合有)

▼見学科 入館料のみ

【化石クリーニング体験】

石の中から化石を取出す作業を体験できます。各回とも申し込みは先着10名まで。出てきた化石は記念に持ち帰ることができます。

▼日時

①8月2日(水)

午前10時30分～午後1時30分

②8月3日(木)

午前10時30分～午後1時30分

③8月26日(土)午後1時30分

※集合・解散は穂別博物館

▼会場 穂別博物館かきき学習館

▼内容 化石採取作業

▼講師 櫻井和彦さん(学芸員)

▼参加料 無料

▼定員 10名(先着順)

▼申し込み 事前に申し込みを

【化石採集会】

化石学習用地で実際に化石を採集します。出てきた化石は記念に持ち帰ることができます。

▼日時 8月6日(日)

午前9時～12時

※集合・解散は穂別博物館

▼会場 体験学習用地

※穂別地区(キウス)

▼内容 現地で化石採集

▼参加料 無料

▼定員 先着10名

▼申し込み 事前に申し込みを

【化石レプリカづくり】

穂別キャンプ場で、化石の型を取り色づけする「レプリカづくり」を体験

炭火焼メニュー

もう、食べましたか。



*** 期間限定 ***
7/15(土)～8/20(日)

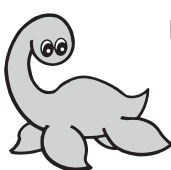
*** 営業時間 ***
午前11時～午後2時30分
※ラストオーダー午後2時

ホテル四季の風では、7月15日から期間限定で炭火焼メニューを始めました。地元産のししゃもをはじめ、むかわ和牛、ホッキ、野菜などを炭火で味わうことができます。ぜひ一度、自慢の食材を味わってみませんか。

炭火焼メニュー

炭火焼きセット(ししゃも、ホッキ、エビ、ソーセージ、野菜など)・むかわ牛・むかわ豚

ホテル四季の風
HOTEL SHIKINOKAZE
tel.0145-42-4171



験できます。各回とも申し込みは先着15名まで。

▼日時

①8月12日(土)

午前10時30分～午後2時

②8月13日(日)

午前10時30分～午後2時

※集合・解散は穂別キャンプ場

▼内容 化石のレプリカ制作

▼講師 櫻井和彦さん(学芸員)

▼参加料 無料

▼定員 先着15名

▼申し込み 事前に穂別キャンプ場(TEL 45-1324)へ申し込みを

□穂別博物館に関する問い合わせやイベントの申し込みはTEL 45-13141まで

自治活動
self-government

地域自治活動の模範です 福住町内会の自治活動



▲7月13日、ゴミステーションを改修する福住町内会の役員

6月27日、7月12日・13日の3日間、鶴川地区の福住町内会(北田正雄会長)が老朽化したゴミステーションを自分たちの手で改修しました。福住の住民が利用するゴミステーションは、近年、床板の腐敗や金網のサビ付きが著しく、改修を要望する声が多くあがっていました。

そのため、同町内会では会費により改修に必要な材料を購入し、役員が中心となり「自分たちでできる」とは自分たちの手で」とゴミステーションの床板と金網を取り替えました。同町内会が管理しているゴミステーションは全部で25基。そのうち11基の床板と23基の金網すべてを自分たちの手で改修しました。

表彰

commendation

受賞おめでとうございます
特別叙勲(旭日単光章)



元 鵜川町議会議員
旭日単光章
故 阿部次男 氏
昭和2年6月12日生(満78歳)

遺族
阿部昭彦さん

多くの皆様に支えて頂いたお陰で公職を努めることができました。心よりお礼申し上げます。

【阿部氏の功績】

昭和42年4月に地域住民から推されて、鵜川町議会議員に当選、以来昭和54年までの3期12年の永きにわたり在職し、鵜川町議会民生教育常任委員会委員、鵜川町議会産業建設常任委員会委員、鵜川町議会総務常任委員会委員を歴任し、不断の熱意と卓越する識見をもって町政の審議に参画し、町勢の伸展と住民福祉教育の向上、産業振興に多大な貢献をされました。さらに鵜川土地開発公社監事に就任し、公社の健全運営にも尽力されました。



7月16日、神奈川県在住の田中郁子様が来町し、「父の町民栄誉賞之碑(穂別仁和地区)の管理への感謝の気持ちを込めて」と町へ寄付金の申し出があり、受納いたしました。田中様は中谷産業株式会社創始者である、中谷正二氏(故人)の町民栄誉賞之碑の前で、山口町長に直接渡されました。温かいご厚志に感謝いたします。誠にありがとうございました。

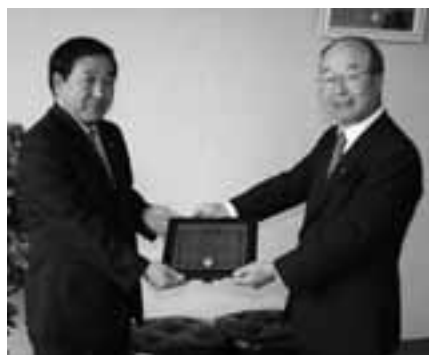
▶寄付者

社会福祉法人 真和会
木之花保育園
理事長 田中 郁子 様

▶寄付金額 100万円



木之花保育園の創立者でもある父の精神を再確認し、これからも子育て支援を実践していきたいと思っております。



▲ 7月10日、日本赤十字社北海道支部の太田事務局長から贈呈

受賞おめでとうございます
日本赤十字社銀色有功章

日本赤十字社北海道支部の地区役員として多年にわたり、住民福祉の増進などに寄与された功労に対し、日赤おかわ町分区長である山口町長「銀色有功章」が贈呈されました。

善意

goodwill

ありがとうございます
町への善意

7月14日、小樽市在住の大本勤様から町へ寄付金の申し出があり、受納いたしました。温かいご厚志に感謝いたします。ご意向にそうよう大切に使用させていただきます。大変ありがとうございました。

▼寄付者 大本 勤様(小樽市)

▼寄付金額 現金10万円

▼寄付理由 親族が本町で交通事故にあわれたため

▼使途条件 交通安全対策事業に：



ありがとうございます
まちの環境美化活動

7月14日、清流・鵜川の美しい環境を維持しようと鵜川町一級河川鵜川愛護協議会、室蘭開発建設部苫小牧河川事務所共催による鵜川河川敷のごみ拾いが今年も行われました。集められたペットボトルや空き缶などのゴミはトラック1台分にもなりました。

参加した皆さん、大変ありがとうございました。

▼清掃活動に参加された団体

●むかわ町高齢者大学

●むかわ建設協会

※このほか、個人・団体などで参加した皆さんも、大変ありがとうございました。

生涯学習
lifelong education

社会教育事業「わんぱく広場」

「キックベースボール教室」

「キックベースボール」のルールを学び、みんなで楽しもう!

▼日時 8月7日(月)・8日(火)・9日(水)

午後1時30分～3時30分

▼会場 鶴川中央小学校グラウンド

▼内容 ルール説明・練習・試合

▼講師 おかわスポーツクラブ

▼対象 小中学生

▼参加料 無料

※年間傷害保険要加入

▼持ち物 運動できる服装・靴・飲み物・タオル

▼申込期限 7月31日(月)

【穂別かせぎツアー】

採集場の見学や化石クリーニングを通してむかわ町の宝「化石」を体感しましょう。

▼日時 9月10日(日)

午前8時30分(本庁舎前出発)

午後2時(本庁舎前解散)

※本庁舎前からはバス移動。現地集合の場合は午前9時30分まで。現地解散は午後1時

▼会場 穂別博物館

▼内容 化石採集場の見学・化石クリーニング

※雨天の場合は採集場見学を博物館

社会教育事業に参加する方々へ

社会教育事業の集合場所・開催場所へのバス運行について、大変ご不便をおかけしております。現在、教育委員会では町民の皆さまがいろいろな事業に参加することができるよう、鶴川地区・穂別地区の各事業の精選や調整、体制の整備を進めているところでございます。

今年度につきましては、集合・開催場所への移動は各個人での対応をお願いすることがこれからも多くなると思われますが、ご理解、ご協力ください。

見学に変更。昼食はアイスクリームで

▼講師 穂別博物館の職員

▼対象 幼児・小中学生

※幼児は保護者同伴

▼定員 先着30名

▼参加料 無料

※年間傷害保険要加入

▼持ち物 野外で活動できる(汚れてもよい)服装と靴・長靴・昼食・飲み物・おしぼり

▼申込期限 8月31日(木)

口「わんぱく広場」に関する問い合わせや申し込みは「本庁社会教育課 4212487まで

【高齢者大学基本講座】

【研修旅行】

大学の一大イベント「研修旅行」を今年も実施しますので、ぜひ参加してください。

▼日時

①【第1班】8月28日(月)

②【第2班】8月29日(火)

※1班、2班のどちらかの申し込み。出発はいずれも役場本庁舎前午前7時40分出発

▼研修先 登別伊達時代村

▼内容 施設・劇場見学、寺子屋体験学習、村内の散策

▼持ち物 健康保険証・飲料水・常備薬・雨具(雨天の場合)

▼定員 1班、2班ともに先着50人

▼参加料 3,700円(入館料・昼食料金・保険料)

▼申込期限 8月21日(月)

▼申込先・問い合わせ 「本庁」社会教育課 4212487(直通)まで



変更前 0145-42-2485

変更後 0145-42-2487

役場【本庁】社会教育課の電話番号が変わりました。

教育
education

**ひとりで悩まないで
はじめの相談に応じます**

「はじめ」のことで悩んでいる小中学生、青少年や「はじめ」の対応で悩んでいる保護者などの電話相談に応じています。

相談内容は外部に漏らすことはありませんので、安心してご相談ください。

▼相談日時 毎週月曜日～金曜日

午前9時～午後5時

※年末年始、祝日を除く

▼相談電話 4215555

**自然体験学習の一環として
清流・鶴川を川下り**

町内を流れる鶴川を自然体験学習の一環として企画した「カヌー体験」が行われました。体験したのは、穂別高校の生徒。1年生から3年生まで7月5日から3日間、にわたり、清流・鶴川をカヌーで下りました。また、7月21日には仁



和中学校の生徒も授業の一環として体験し、まちの恵まれた自然の豊かさを感じました。

教育

education

夢や希望などを発表した 穂別地区の中学生

平成18年度穂別地区少年の主張大会が6月23日、穂別中学校で開かれ、穂別地区の中学生5人が将来の夢や希望、抱えている悩みなどを発表しました。発表した5人は、抑揚をつけながらそれぞれの思いを堂々と多くの聴衆の前で発表すると、大きな拍手が送られていました。



▲6月23日に実施した穂別地区少年の主張大会

【成績】

- ▼最優秀賞 穂別中学校1年 多村弥生さん「家族」
- ▼優秀賞 穂別中学校2年 谷村季輝さん「声の力」
- ▼努力賞 仁和中学校3年 橋堀祐祈さん「ボクシングをやりたい」
- ▼努力賞 仁和中学校2年 山本憲一さん「みんなと話したい」
- ▼努力賞 穂別中学校3年 政氏翔太さん「職業に就くということ」

委嘱されました

むかわ町の体育指導委員

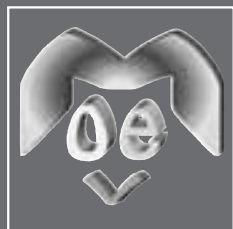
新町となり、初の体育指導委員が決まり、産業会館において教育長から25人の体育指導委員に対し、委嘱状が交付されました。

体育指導委員の任期は2年で、住民のスポーツ振興に関して、スポーツの実技指導やスポーツ活動促進のための組織の育成などの職務を担います。新たに決まった25人の体育指導委員の皆さん、新生むかわ町のスポーツ振興のため、ご協力よろしく願います。なお、体育指導委員の氏名と地区名は次のとおり。

氏名	住所
① 高橋 義道さん	穂別
② 豊岡 義博さん	穂別
③ 青木 勤さん	穂別
④ 五十嵐 順一さん	穂別
⑤ 東 恵利子さん	穂別
⑥ 西 浩行さん	穂別
⑦ 小松 浩さん	穂別和泉
⑧ 赤平 靖郎さん	穂別
⑨ 久保田 敦さん	穂別
⑩ 太田 志穂さん	穂別
⑪ 西 智一さん	穂別
⑫ 伊藤 寛治さん	福住
⑬ 山下 紀美子さん	文京

氏名	住所
⑭ 椿 優子さん	青葉
⑮ 大沼 保治さん	福住
⑯ 竹田 早知子さん	花園
⑰ 三上 修さん	洋光
⑱ 高橋 康子さん	宮戸
⑲ 工藤 喜美子さん	春日
⑳ 秋吉 伸保さん	福住
㉑ 佐藤 光枝さん	駒場
㉒ 本間 弘行さん	美幸
㉓ 伊藤 正人さん	豊城
㉔ 井上 琢磨さん	生田
㉕ 野木 伸行さん	生田

※掲載は順不同



4月から「おーぶ」が活動を開始してから、4ヶ月がたちました。札幌ドームツアーや登山ツアー、親子ふれあいキャンプなど様々なイベント事業の実施や、ArimoriCupマラソン大会の参加などを行ってきています。定期活動では週1回種目を決め、いろいろなスポーツに取り組んでいます。8月からは子ども会員を対象にした「子ども軽スポーツ教室(仮称)」を開催することを計画しています。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。まだまだ会員も募集中です。問い合わせは「おーぶ事務局」(町民体育館 TEL42-2963)まで。

【受付日時】 毎週火・木曜日 午後1時～4時
毎週水曜日 午後7時30分～9時30分

こんにちは！むかわスポーツクラブ 「おーぶ」からお知らせです。

『子ども軽スポーツ教室』

子どもたちを対象にした軽スポーツ教室を開催します。

体育館で様々な運動やスポーツをして楽しみませんか。会員の子どものほか、体験入会もできます。会員以外の方は、事前にお申し込みください。

- ▶日 時 8月19日(土)午後1時～3時
- ▶会 場 鶴川町民体育館
- ▶内 容 体ほぐし運動・ボール遊び・キンボールほか
- ▶講 師 「おーぶ」指導者
- ▶持ち物 運動できる服装・運動靴

※事業の詳細は、「おーぶ事務局」(町民体育館 TEL42-2963)まで。



俳句

新緑の脳天までもつらぬきぬ

二宮 高田節香

山影のドミノ倒しに大夕焼

宮戸 濱崎敏子

遺伝子は真つ赤なほつペタやける

福住 折田いち葉

青空も応援のうち運動会

美幸 塚田蒼花

夜桜の隙間の空は落ちてくる

札幌 館山知谷子

夏の雲歩いて走つても真上

文京 大内亮風

鷗川俳句会選

なうだいこそだはたけわすかき
夏大根育つ畑の忘れ傘

寿恵女

てまかぬま
夏大根手間かけぬ間の食べ頃に

貞一

まとなり
夏大根間びいて隣へおすそ分け

敏子

からやま
夏大根辛さがうれし山の宿

聖子

そばえむじんいち
日照雨くる無人の市の夏大根

貢

ぬこぶあなのぞ
夏大根抜いて小振りの穴覗く

孝明

ほべつ俳句会選

短歌

新鮮な空気を吸ひつつ一万歩良い汗かきて鼻歌も出る

福住 八坂美津代

朝陽さす育苗に水かけしとき瞬時に見えし虹のきらめき

生田 河野利三

飛魚の塩ふり焼きが青き皿に盛られ今にも跳ねて行くがに

汐見 亀田美弥子

原始林「むかわ支部」選

第12回北海道オホーツクペタンク大会

優勝 ジュールむかわチーム (大会2連覇)
中道紘一さん(福住)・小林恒雄さん

第7回北の大地の夫婦ペタンク大会

準優勝 たんぽぽむかわチーム
中道紘一さん(福住)・中道玲子さん(福住)

第18回北海道ダブルスペタンク選手権大会

第3位 ジュールむかわチーム
中道紘一さん(福住)・石川英毅さん(福住)

さんの作品
なく収まっ

中二
重山大輔
分析

米原
山口明日香さんの作品
素直にのびのびと書けま
した。

沖田翠香 評

小五
山口明日香
上話
手し

ぎや
らりら

読者ページ

このページは読者の皆さんのページです

皆さんからの声はもちろん、スポーツ、サークル活動の成績や作品などもお待ちしております。

本庁企画課・企画広報係か、支所・地域振興課まで投稿ください。

平成18年度胆振四地区中学校体育大会 柔道競技大会



●男子90kg 超級
準優勝
三上 涼さん(末広)

Reader's voice

読者の声

「嬉しい感想」

私は、生活環境などから精神的にも苦しい不安な気持ちを経験しており、そんな気持ちを相談できる窓口はないかといつも思っており、外来日に町診療所の先生に話を聞いていただき、親身にご指導いただき薬も出してもらっています。6月、私は生活習慣病健診を受け、初めて心の健康チェックの問診票を目にしました。本人の承諾の上で、お話もしていただけたということでした。今まで自分が悩んでいた項目も何点か載っていました。健診当日、担当者と面談し、話を聞いていただき後日、訪問していただけることになりました。本当に待ち望んでいた問診が健診の一部として入っていただけてとても安心しました。

また、自己負担金免除対象の変更により初めて無料で受けることができました。心の健康チェックの問診票との出会いとそれへのご指導に対してお礼申し上げたく思い書かせていただきました。

(匿名希望 女性)

第27回胆振東部夏季少年野球大会



ほべつホッピーズが優勝！

穂別和泉
太田キミさんの作品

威風堂々と書かれています。

久保田慶光 評



穂別安住
宮田千春さんの作品

少々渴筆の部分があるがすっきりとまとめられています。

久保田慶光 評



福住
重山大輔

力強く無理しています。

北田北穂 評



BOOKS

Recommended

図書館(室)の今月の本



2006.August

鵠川地区

まなびランド図書館

美幸3丁目3-1四季の館内 ☎0145-42-5057



『どこへも行かない旅』

林望 著

●あらすじ さあ、旅に出よう! 情緒豊かな日本の小道やイギリスの田園へ。のんびり贅沢な大人の時間を演出するエッセイと写真が心に栄養を注いでくれます。



『動物感覚』

テンブル・グランディン 著

●あらすじ 人間は自分が予測できるものしか見ていない!? 自閉症を抱える動物学者が自らの症状を手がかりに、動物の不思議な感覚や動物たちが見る世界の謎に迫る。



『ギフト』

ル・グウィン 著

●あらすじ 『ゲド戦記』の著者が描く新たなファンタジー。代々受け継がれる「ギフト」と呼ばれる力…。その力が強すぎるために父親に目を塞がれてしまった少年の旅立ちの物語。

開館時間

午後1時～8時

休館日

年中無休

穂別地区

穂別図書館

穂別80-6 ☎0145-45-2396



『鵠川・沙流川物語』

北海道開発局室蘭開発建設部 著

●あらすじ 鵠川・沙流川流域の四季を撮影した写真集。見慣れた景色の美しさに感動します。川と地域の紹介付き。



『みずはつめたい』

木内喜久雄 選・著

●あらすじ 「かぜのひきかた」「蟻の涙」などの代表作を集めた辻征夫詩集。どこことなく暖かでユーモアがあり、読む人の心を癒します。



『どこか遠くへ』

●あらすじ 短編選集「新ちくま文学の森」の一冊。山下清「出発まで」など「旅」をテーマにした小品集。夏休みにどうぞ。

開館時間

午前9時30分～午後4時30分

休館日

毎週月曜日※休日の場合は翌日
館内清掃日、年末年始

・・・人の動き・・・

6月1日～30日

出生3人 死亡7人

転入24人 転出30人

●人口 10,519人

男性 5,145人

女性 5,374人

●世帯 4,629世帯

※平成18年7月1日現在



MUKAWA TOWN

～編集スタッフから～

●先月号の夏目医長のプロフィールの中で『「ユーモアな」経歴をもつ』との表現に、読者の方から少し表現が違いうのではというご指摘を受けました。「あらら、確かに…。」と反省。使うべき表現は「多彩な」とか、「異色の」でした。失礼しました。(T)

●夜な夜な町内の街灯を巡りクワガタ採りをしています。我が家の子供たちに本物のクワガタを見せてあげたい思いで連れていってまですが、どうやら「ゲームのムシキング」の方が好き!?。何か寂しい気が…。これも時代の流れでしょうか?(S)

